

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石市魚市場生産・機能体制強化事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-27-8427
施策②	釜石市魚市場を中心とした生産・流通体制の強化	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	令和5年度～令和8年度		
事業の概要			
水産物流通において、中枢的な機能を持つ魚市場であるが、秋サケ、サンマなど主要魚種の水揚げ不振により厳しい状況が続いている。本事業は、漁船漁業者等の給氷経費や買受人誘致活動等の水揚増強対策事業に対する補助を行い、水揚げ増加につなげ、魚市場の体制強化、ひいては漁業所得の向上を目指すもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
主要魚種の不漁等により、水揚げ量が減少している。それに伴い、魚市場の運営体制が脆弱化し、漁業者へのサービスが低下しており、他魚市場へ水揚げする漁業者の燃油代など固定経費増加で漁業所得が増加しない。	
目的	
漁船漁業者や買受人誘致等の水揚増強対策実施事業者への補助を行うことで魚市場のサービス向上を図り、漁業所得を増加させたい。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①水揚げを行う漁船漁業者が魚市場から購入した氷代金に対する補助 ②魚市場の水揚増強対策事業への補助 ③水揚げ漁業者への御礼		
事業費		
R 6	R 7	R 8
10,180 千円	10,726 千円	10,726 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	見直し余地あり
評価結果			
近年、主要魚種であるサケやサンマなどの漁獲量の低迷により、主に水揚げ手数料を収入源とする魚市場が厳しい運営状況である。また、ALPS 処理水放出に伴う風評被害等も懸念されており、行政が行う支援として手段・効果などを慎重に精査しながら、魚市場生産・機能強化を図られたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	さかなのまち活性化事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-27-8427
施策②	漁協の生産体制の強化と漁業者の所得向上	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和3年度～令和8年度		
事業の概要			
水産業の活性化策として、釜石地域の水産業の新たな品目として、近年好まれる食材であるサーモン類のうち、日本固有の在来種であり、高級魚でもあるサクラマスをはじめとした海面養殖事業を産学官連携により、安定的収入の確保が望める養殖事業として確立を図ることに加えて、フォーラムで周知するなどプロモーション活動を行うことにより、「さかなのまち」としての活性化を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
地域水産業の主力漁獲物の不漁、水産業の担い手減少、水産加工業における原料の確保が厳しくなっている。また、令和4年10月に海面養殖サクラマスの事業化を達成しており、今後ブランド化に向けた取組みが求められている。	
目的	
効率的な生産が可能な養殖種苗を開発することで養殖生産の拡大を図ることに加えて、釜石はまゆりサクラマスのブランド化を推進することで水産業の担い手人数の増加もしくは維持するほか、漁業所得の向上を目指す。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①サクラマスグルメ開発：セミナー、ワークショップ、プロモーション、フェア開催 ②販促物作成：ポスター、幟等の販促物を作成 ③フォーラム開催及び広報PR：サクラマス研究内容の発表や情報発信 ④大学と連携した共同研究：種苗開発		
事業費		
R 6	R 7	R 8
13,312 千円	13,312 千円	13,312 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
地域の水産振興を図るための重要な事業であり、安定的収入の確保が望める養殖事業となるよう関係機関との連携を図りながら、事業を推進されたい。また、フォーラムやプロモーション活動にも注力し、「さかなのまち」の活性化を図られたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	水産物供給基盤機能保全事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-22-2111
施策②	漁協の生産体制の強化と漁業者の所得向上	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和5年度～令和7年度		
事業の概要			
室浜漁港（片岸地区）の防波堤の杭基礎が近年の自然条件の変化に伴う高波・波浪等の影響により損傷していることが判明したことから漁港の安全確保のため、機能保全を図るもの。防波堤 L=18.5m機能保全			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
室浜漁港（片岸地区）は東日本大震災により漁港施設は甚大な被害を受けたが平成26年度に漁港の災害復旧が完了し漁業活動も再開されているところであるが、近年の自然条件の変化に伴う高波・波浪等の影響により損傷していることが判明したことから漁港の安全確保のため、機能保全を図るものである。	
目的	
室浜漁港（片岸地区）において近年の超大型台風や急速に発達した低気圧による異常な高波を考慮した設計波高の見直し（平成30年4月）や実績を踏まえた設計基準に基づき、漁港施設の機能保全を行い、頻発している越波を防ぎ、かつ効率的な漁業活動の基盤を確保する。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
室浜漁港（片岸地区）の一部である延長18.5mの防波堤の機能保全を行う。 鋼管杭基礎の機能保全および改修を行い、漁港内の静穏度確保を図る。+Z91		
事業費		
R 6	R 7	R 8
80,100 千円	45,100 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
高波・波浪等の影響により損傷した室浜漁港（片岸地区）の機能保全を図るものであり、国県との工法協議など調整を図りながら、早期復旧に努められたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	県営漁港整備負担金		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-22-2111
施策②	漁協の生産体制の強化と漁業者の所得向上	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	平成23年度～令和8年度		
事業の概要			
市内全14漁港の内、6港ある県管理漁港の施設の老朽化対策、防波堤整備、耐震・耐津波対策、防波堤・岸壁の改良、漁港機能の増進を図るため、県営漁港整備事業に対し事業費の10%を定額負担し漁港施設の基盤整備・維持を行うもの。これにより、市内漁港の基幹的な漁港である県管理漁港の安全かつ効率的な漁業活動の基盤を確保するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
東日本大震災津波により岩手県管理漁港施設も甚大な被害を受けたが、漁港の災害復旧工事も進捗し、漁業活動も再開されているところである。 市内全14漁港の内、県管理漁港は6漁港あるが、漁港施設の老朽化対策、防波堤整備、耐震・耐津波対策、防波堤・岸壁の改良、漁港機能の増進を図る必要がある。	
目的	
市内全部の漁港の年間水揚げ量約15,000トンの内、約9割、約14,000トンの水揚げがある県管理漁港の安全かつ効率的な漁業活動の基盤を確保する。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
市内全部の漁港の年間水揚げ量約15,000トンの内、約9割、約14,000トンの水揚げがある県管理漁港の安全かつ効率的な漁業活動の基盤を確保する。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
11,510 千円	68,200 千円	68,200 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
漁協の生産体制の強化に向け、引き続き県と協力し漁協施設の機能強化を行うこと。また、定期的な点検を実施するなど施設の長寿命化を図られたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	水産加工業人材確保支援事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魚のまち「かまいし」復活に向けた取組の推進	電話番号	0193-27-8427
施策②	魚が感じられるまちづくりの推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	新規
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和6年度～令和6年度		
事業の概要			
当市の基幹産業である水産加工業のデジタルトランスフォーメーションの推進による付加価値と給与水準の向上に対して支援することで雇用の維持・拡大を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
当市の基幹産業である水産加工業の人材が不足していることから、外国人技能実習生等の受け入れを行い、人材確保している状況だが、住居がない、もしくは家賃が高いなどの課題がある。
目的
デジタル技術を活用した生産活動の推進を行い、安定的な雇用に結びつける。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
沿岸地域基幹産業人材確保支援事業補助金により金銭面での事業者負担を軽減。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
14,000 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
水産加工業の人材不足は課題であり、特に若年層の雇用の受け皿となるよう、市内水産加工業者の調査の実施を慎重に行い、将来性のあるシステム構築を実施されたい			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	青ノ木地区飲雑用水施設改修事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	農林畜産業施設の適切な維持管理と整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	新規
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和6年度		
事業の概要			
平成28年度の台風災害において橋野町青ノ木地区では飲雑用水施設が被災したことから井戸水確保の代替事業による復旧を行った経過がある。施設占用の更新時期を迎えることから、必要な改修を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
無償で占有している国有林内の施設について、林業施業に支障のないように修繕する必要がある。
目的
無償で占有している国有林内での、林業施業に支障のないように修繕する必要がある。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
無償で占有している国有林内での、林業施業に支障のないように修繕する必要がある。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
5,000 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
無償で占有している国有林内において、林業施業に支障のないように修繕する必要があることから、関係者との調整を図りながら早急に撤去に着手されたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	地域計画策定推進緊急対策事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-826
施策②	釜石型農業の確立と担い手の確保	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和4年度～令和6年度		
事業の概要			
<p>「人・農地プラン」は地域農業の将来像を明確化した計画であり、農業経営基盤強化促進法の改正により「地域計画」として法定化されるものである。当市では「人・農地プラン」策定済みの4集落（橋野・栗林・甲子・唐丹下荒川）に加え、東日本大震災の影響により未策定であった2集落（鶴住居、唐丹下荒川以外）の策定を進め、令和6年度末までに全集落で「地域計画」として完成させ、地域農業の将来像を明らかにするもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
<p>国の農業経営基盤強化促進法の改正により、令和7年3月までに「地域計画」を策定する必要があるが、市内で未策定の集落は、地域農業の将来像が明確でないことから、市内全集落での策定が求められている。</p>
目的
<p>「人・農地プラン」の策定に引き続き、国の制度改正に対応した「地域計画」策定に移行しつつ、農地の活用方法や担い手を明確化するもの。</p>

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>「地域計画」の推進業務（農地利用意向の把握、集落座談会の開催、目標地図の作成）の実施。 【令和6年度】4集落（橋野集落、栗林集落、甲子集落、鶴住居集落）での「地域計画」策定の推進</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
1,000 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
<p>計画の策定により、将来へのビジョンをより具体的なものとするため必要な事業であり、農地の活用方法や担い手不足等の課題解決に向け、地元の意見を尊重しつつ実施されたい。</p>			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石市農業振興総合支援事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	釜石型農業の確立と担い手の確保	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和3年度～令和8年度		
事業の概要			
<p>本市農業は、地理的条件により農業者の多くは経営規模が小さいほか、複数品目を組み合わせた複合的経営を行っている。また、農業従事者の高齢化により、担い手不足による遊休農地が増加している。そこで、新規就農者や意欲ある担い手農家の生産拡大と担い手確保を総合的に支援することで、新規就農へのスタートアップを促進し、農業従事者の労働力確保や販路拡大、経営規模の拡大を推進することで農業振興を図るもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>本市の総農家数は10年前に比較して4割減少し、農業従事者の減少・高齢化が進行する中で遊休農地等も増加している状況にある。このことから、新規就農者の確保等による労働力の確保および意欲ある担い手農家の規模拡大への生産基盤の整備が課題である。</p>	
目的	
<p>農業振興の活性化、農業従事者の維持を図りつつ、新規就農者の確保を図るとともに、農業経営の規模拡大による所得向上を図るもの。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>釜石市農業振興総合支援事業補助金制度により、生産振興と担い手育成を総合的に支援することで新規就農者や意欲ある担い手農家の負担を軽減する。また、市内産農産物を活用する市内事業者への支援を行うことで、市内産農産物の販路確保と活用促進が図られる。</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
2,500 千円	2,500 千円	2,500 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
<p>釜石型農業を推進する上で重要な事業であり、面的で包括的な支援であることから、引き続き農業者の声を反映し適切な補助を行うことは必要であるが、各補助メニューについては、ニーズと効果を見極め必要に応じて内容の見直し圧縮を行うなど、補助メニューの見直しが必要である。</p>			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	観光農園設置事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	27-8426
施策②	釜石型農業の確立と担い手の確保	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和3年度～令和8年度		
事業の概要			
遊休農地を活用し、市民が憩う場所、自然や農業に触れる機会を創出しながら教育面、福祉面、観光面、国際交流等にも寄与する場としてのラベンダー観光農園を設置・管理を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
高齢化や担い手不足による農地の遊休化が進み、市内の景観が悪くなるほか、荒れた農地は野生動物が里山に住み着く原因ともなるため、鳥獣被害にも繋がっている。拡大する遊休化の中で、有効な農地の活用方法も考案に至っていない。
目的
遊休農地の解消を、市民の健康や教育、福祉面で有効に活用しつつ、交流人口を増やすため観光面にも寄与しながら行う。また、姉妹友好都市との友好関係維持や更なる交流のためにも活用する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
遊休となって使われなくなった農地を拡張整備し、ラベンダー苗を定植した。苗の定植は、設置対象地の地元である甲子小学校と協働で定植会を開催し、児童、保護者により定植を実施する。また、姉妹都市であるフランス デイニュー・レ・バン市にラベンダー観光農園設置について説明し、賛同いただいたことから寄贈いただいたラベンダー種子の育苗を行ったが、来年度も寄贈の意向を聞いている。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
3,250 千円	4,500 千円	4,500 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
見直し余地あり	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
遊休農地の解消、農福連携及び国際交流の観点から一定の成果があるものの、農業振興に向けての視点を取り入れたうえで、事業見直しの余地があると思われる。維持管理等を鑑み、今後の事業の方向性について検討されたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	森林経営管理事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	27-8426
施策②	森林経営管理制度による地域林業の成長産業化への取組の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	平成31年度～令和8年度		
事業の概要			
森林経営管理制度の推進に必要な意向調査や集積計画案の作成、その作成に必要な森林の現況調査のための航空レーザー計測等を実施し、森林管理の実施につなげるもの。その他、林業の担い手確保・人材育成事業や、市民生活に影響を及ぼしている支障木を除去する森林環境整備事業、市町村管理事業である私有林人工林整備事業等を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
森林を相続などで所有したが、どのように管理していけばよいか分からない、もしくは管理したくない森林所有者がいる。また、管理されていない森林の付近に住んでいる地域住民が、支障木の除去を望んだり、災害発生を危惧しているが、森林所有者と連絡が取れず、そのままとなっている。	
目的	
所有者が管理できず、荒れている森林を減らし、適切に管理の行き届いた森林にすることで、森林の有する多面的機能の増進を図る。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
令和2年度に市内森林の所有者に制度周知のお知らせを送付。市内を13地区に分け地区ごとに順次意向調査を実施中。意向調査は、令和2年度に橋野和山地区・栗林地区、令和3年度に鶴住居・片岸地区。令和4年度は箱崎地区、令和5年度は釜石東部・両石地区で実施。市民生活に影響を及ぼす恐れのある支障木の伐採は、令和4年度に1地区、令和5年度に2地区実施済み。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
57,520 千円	68,700 千円	68,700 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	見直し余地あり	適切
評価結果			
当該事業は、地域林業の成長産業化へ向けた重要な事業であるとともに、森林林業木材普及事業は、釜石市の新たな特産品の開発や林業の振興に資する取組であると思われるため、関係者と連携し積極的に事業を展開されたい。一方、譲与税等の財源や職員の業務量等に留意し、持続可能な事業内容とされたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	森林病虫害等防除緊急対策事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	森林経営管理制度による地域林業の成長産業化への取組の推進	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	平成26年度～令和8年度		
事業の概要			
森林の持つ公益的機能を維持し、森林病虫害の被害拡大防止を図るため、市内の被害最先端地で駆除事業を実施するほか、既に枯死木となり、市民生活に大きな影響がある箇所について、市が実施主体となり枯死木除去事業を実施するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
森林所有者個人でのナラ枯れの防除は不可能であり、ナラ枯れ被害にあった木を処分することは困難である。そのままにしておけば、枯死木となり倒木等により生活被害を起こす可能性がある。	
目的	
被害木を伐倒くん蒸して、被害拡大を最小限に食い止める。それにより枯死木の倒木による市民生活への被害を防止する。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
県の補助事業を利用して、被害木の伐採等を実施している。 ①春と秋に、市内のナラ枯れ被害先端地を中心に伐倒くん蒸を実施。 ②市民生活に影響のあるナラ枯れの被害木や枯死木を、いわての森林づくり県民税事業を利用して処理する。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
2,400 千円	2,400 千円	2,400 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
森林病虫害等による被害を早期に食い止め、被害拡大を防止し、森林資源や森林の多目的機能の維持を図れるよう、伐倒くん蒸する木の選定方法を県と調整し、計画的に実施されたい。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	甲子林業センター改修事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193 - 27 - 8427
施策②	農林畜産業施設の適切な維持管理と整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和6年度		
事業の概要			
当該施設は、町内会活動やスポーツ活動などで広く地域住民に利用されている。数年前から大雨の際などに雨漏りが確認され、建物内部への侵入も確認されるようになった。屋根の防錆処理が経年劣化していることが原因とみられることから、修繕を実施し、建物内部への雨の侵入や腐食を防ぐとともに、安全な活動の場を提供するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
当該施設で屋根付近から雨漏りがするため、施設の適切な使用がしにくい状況となっている。また、施設内部に雨が入り込むことで、設備への影響も懸念される。
目的
施設の長寿命化に資するとともに、市民の活動の場を適切に提供する。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
R6年度に工事を発注し、修繕を実施する。		
事業費		
R 6	R 7	R 8
23,100 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
農林畜産業施設の適切な維持管理へ向け修繕を要するが、実施年度については、新市庁舎建設等の大型事業や市の財政状況を踏まえ決定する必要がある。			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	農業用施設長寿命化事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-22-2111
施策②	農林畜産業施設の適切な維持管理と整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	継続
4つの柱	産業振興	補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和8年度		
事業の概要			
<p>当市の農業施設(農道・農道橋・取水堰・排水施設等)の一部は老朽化しており、安全安心な農業活動に支障が出ている状況のため、国が策定した「土地改良施設等のインフラ長寿命化計画」に基づき、令和2年度に策定した「釜石市農業用施設長寿命化計画」により、補修が必要な施設について計画的に補修工事を行うもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>令和2年度に策定した「釜石市農業用施設長寿命化計画」にて調査点検した施設のうち、構造物の機能に支障が生じている施設が6箇所確認されたことから、安全かつ効果的な農業活動のため、補修工事を実施するものである。</p>	
目的	
<p>機能に支障が生じている施設である取水堰の水門6箇所を補修し、安全かつ効果的な農業活動の基盤を確保する。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>機能に支障が生じている施設である取水堰の水門6箇所を補修し、安全かつ効果的な農業活動の基盤を確保する。</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
5,000 千円	18,000 千円	5,000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
<p>農林畜産業施設の安全かつ効果的な農業活動の基盤を確保するために修繕を要する。必要性、緊急性を考慮し、内容を精査しつつ施工されたい。</p>			

令和5年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和6年度～令和8年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	釜石型農業活性化事業		
政策	未来をつくる人と産業が育つまち/水産・農林業の振興	担当課	水産農林課
施策①	魅力ある農林業の創出と地域の活性化	電話番号	0193-27-8426
施策②	釜石型農業の確立と担い手の確保	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	人材育成と産業の振興	新規・継続	新規
4つの柱	産業振興	補助・単独	補助
事業期間	令和6年度～令和8年度		
事業の概要			
<p>本市農業の課題解決のため、これまで釜石型農業推進事業として収益性の高い農産物の導入や地産地消の推進等により、甲子柿やクッキングトマトすずこま等の付加価値の高い農産物の導入、軽トラ市の開催や学校給食による地産地消の普及・定着が図られてきた。今後、釜石型農業を活性化事業として、市内外へのPRや安定的な販路確立を目的とした事業を行うことで、農業産出額の向上と担い手の確保・育成を図るもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>本市農業は中山間地域という土地の制約により、大規模経営による農業所得の確保は困難である。このことから、小規模でも所得確保が可能な釜石型農業推進事業を実施してきた。当該事業の成果により、付加価値の向上や新たな販路の確保が図られてきており、生産量の拡大や新規参入者の増加が見られる状況である。今後の生産量の増加や担い手の増加を想定し、市内外の企業等との連携による安定的な販路の確保、出荷・販売体制の構築が望まれる状況である。</p>	
目的	
釜石型農業の活性化。農業者の所得向上、付加価値の向上、釜石産農産物のブランド化	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>・国のGI制度に登録されている「甲子柿」の販売会の開催による全国的な認知度向上と安定的な販路の確保、生産拡大に関する傷害果の活用・新たな地域振興作物として生産拡大している「すずこま」の愛称募集による付加価値の向上、PR媒体の作成による知名度向上・軽トラ市開催と地産地消の定着に向けた、他団体との軽トラ市交流による連携・意識啓発、運営団体の組織化・生産者と児童生徒の交流給食の実施による地産地消の意識啓発</p>		
事業費		
R 6	R 7	R 8
1,704 千円	1,704 千円	1,704 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切
評価結果			
<p>釜石型農業の後継事業となることから、釜石市農政推進協議会等を通じて、農業情勢の変化をとらえつつ農業者の意見を取り入れた釜石型農業の確立に向けた取組を引き続き継続していく必要がある。</p>			